

第二成田記念病院 入院患者様へ

当院では下記に臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合に、下記問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題	回復期リハビリテーション病棟での集団起立訓練の導入と効果
当院の研究責任者	リハビリ室 理学療法士 大内敬太
情報を提供する他の研究機関	無
本研究の概要	回復期リハビリテーション病棟では、1日3時間までの個別リハビリテーションに加えて、余暇時間の過ごし方も重要であるとされています。そこで当院では余暇時間を利用して、病棟での集団起立訓練を2019年より導入しました。集団起立訓練を導入までの経過と1年間の実施により、FIMにどのような影響を与えたのかを検討しました。集団起立訓練を実施した患者の方が、運動FIM利得、運動FIM効率、FIMベッド車椅子移乗とトイレ移乗の利得について高い値を示しました。特に入院時のFIMベッド車椅子移乗が1-2点の患者のFIM利得とFIM効率は集団起立訓練を実施した患者の方が高い値を示したため、移乗動作の介助量が重度の患者の方が、集団起立訓練の効果が高いことが示唆されました。
調査データの該当期間	2019年4月～2020年11月
研究対象・研究方法	対象は、2019年4月から2020年11月に当院回復期リハビリテーション病棟に入院し退院を確認した脳卒中患者様。 集団起立訓練を実施した患者群、集団起立訓練導入前の入院患者群に分け、両群間での運動FIM利得、運動FIM効率、FIMベッド車椅子移乗とトイレ移乗の利得について比較検討しました。また、入院時のFIMベッド車椅子移乗1-2点の患者群、入院時のFIMベッド車椅子移乗3-4点の患者群に層別化し、両群のFIM利得、FIM効率、運動FIM利得、運動FIM効率についても比較検討しました。 尚、個人情報とは全てデータ化して、個人が特定できないように処理したうえで分析を行いました。
結果の公表	学会や論文で公表します
利益相反	本研究に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	第二成田記念病院 0532-51-5666 (平日9～17時) 担当者 大内敬太